

## 令和6年度 学校経営計画書

学校番号	55	学校名	相良高等学校	校長名	小塩 宜浩
------	----	-----	--------	-----	-------

## 1 スクール・ミッション

牧之原台地の南に位置する自然豊かな普通科・商業科併設の地域密着型の高等学校として、課題解決学習やボランティア活動を通じた探究的活動を通して、将来の地域社会を支えていくための自覚とビジョンを持った人材の育成を目指す。

## 2 目指す学校像

## (1) スクール・ポリシー

## 【育てたい生徒像】

- 自分の可能性を伸ばすために、たゆまぬ努力をする生徒
- 社会や環境の変化に適応し、たくましく生き抜いていく生徒
- 地域社会と主体的に関わり、より良い社会づくりに貢献できる生徒

## 【グラデュエーション・ポリシー（育てたい力）】

- ・ 基本的な生活習慣を身に付け、自己を管理・コントロールする力
- ・ 学びの基礎となる知識・技能を身に付け、場面に応じて活用する力
- ・ 自己を取り巻く課題を見つけ、解決に向けての方法を探究する力
- ・ 自分自身の目標に向けて粘り強く挑戦し、行動し続ける力
- ・ 周囲と関わりながら他者の意見を尊重し、自らの考えを発信する力
- ・ 地域社会を支える一員として主体的に参画し、貢献しようとする力

## 【カリキュラム・ポリシー】

## 各科共通

- ・ 教科での学びと学校行事や部活動等が関連し合い、実践的な課題解決学習を中心とした探究的な学びを実施します。
- ・ インターンシップ等の職業体験を充実させるとともに、進路に合わせたコースを設置するなど、生徒一人ひとりのニーズに沿った計画的な指導を実施します。
- ・ HR活動や体験活動等を通して自己を見つめ、自主・自律の心を育むとともに、自らの意見や取組を発信していく機会を創ります。
- ・ 自治体や地元企業と積極的な連携を進め、地域活動やビジネス体験、グローバルな国際交流やスポーツ活動など生徒の新たな実践活動の場を提供します。

## 商業科

- ・ ビジネスに関する基礎的な知識や技術を身に付け、地域課題の解決や発展に貢献していく意欲や態度の育成を図ります。
- ・ マーケティングや観光ビジネスなど地元企業と連携したビジネス体験を実施するなど、地域や国内外で活躍する人材の育成を目指します。

## 【アドミッション・ポリシー】

- ・ 相良高校で新たな活動に挑戦し、自分の可能性を広げる意欲のある生徒
- ・ 地域社会や仲間と共に協力して、充実した学校生活を送ることを目指す生徒
- ・ 自分の目標や可能性を見つけ、将来の進路に向かって努力しようとする生徒

様式第1号

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 自律した生活習慣を確立し、他者の心情や立場を尊重することができる豊かな人間性を持った生徒を育成する。
- イ 基礎的知識や技能(技術)を習得し、積極的に活用する態度を身に付けるとともに、探究的な学びを深め、実践を伴う課題解決学習を促進する。
- ウ 進路指導體制や指導計画の充実を図り、早期からのキャリア教育を実施することで、生徒一人ひとりの進路希望を実現する。
- エ 保護者や地域等との連携や交流を通して、生徒の教育環境の充実を図るとともに、地域から信頼される学校となるための取組を推進する。
- オ 協力し合える教職員組織づくりに努め、資質向上や働き方改革を進めることにより、円滑な学校運営を遂行する。

3 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	自律した生活習慣を確立し、他者の心情や立場を尊重することができる豊かな人間性を持った生徒を育成する。	規律ある生活習慣を身に付けさせ、HR指導や個別面談等により、生徒相互の適切な人間関係作りを促す。	規律ある生活習慣を確立している生徒 80%以上 遅刻者1日2人以下	総務・生徒各学年
		交通安全指導や各講習会等により、生活安全上の課題を発見し、主体的に改善しようとする態度を育成する。	交通事故件数5件以下 自転車指導カード交付枚数 100枚以下	総務・生徒
		人権意識の醸成を図り、相互の信頼関係を基にしたHR活動、学校行事等の運営を行う。	自己肯定できる (自尊感情が持てる) 生徒 70%以上	総務・生徒各学年
		生徒会、部活動・サークル活動等の活性化により、生徒が活躍する場面を多く設定する。	部活動等各種活動に熱心に取り組んだ生徒 <b>90%以上</b>	総務・生徒管理職
		「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめを発生させない環境づくりと生徒指導を行う。	いじめアンケートを年3回、個人面談年3回・保護者面談年1回実施、いじめに関連する校内研修を実施	全職員
イ	基礎的知識や技能(技術)を習得し、学習成果を積極的に活用する態度を身に付けるとともに、探究的な学びを深め、実践を伴う課題解決学習を促進する。	各教科の指導により、基礎的な知識や技能(技術)を身に付けさせるとともに、適切な学習課題を提供し、家庭学習の習慣化を図る。	<b>週5日以上家庭学習等に取り組む生徒 50%以上</b> スタサブの利用率 80%以上	各教科各学年
		探究活動の充実のため、教科等横断的なカリキュラム・マネジメントを進め、生徒が主体的に学習成果を活用しようとする態度を育成する。	主体的に探究活動に取り組んだ生徒 80%以上	教務探究推進
		教員の相互授業見学、校内研修会を実施するとともに、新学習指導要領に対応した体制を整え、観点別評価に基づく授業改善を進める。	授業改善に向けて授業を工夫した教員 70%以上	教務(研修)
		ICTを活用した指導を充実させ、様々な場面で生徒が主体的に学習成果を活用し、実践的に課題解決しようとする態度を育成する。	授業や探究活動にICTを積極的に活用した生徒 90%	教務ICT活用
		SCH活動や探究的な学習をととして、地域社会と連携し、実践的・協働的に課題を解決しようとする態度を育成する。	「SCH地域活動相高プロジェクト」参加生徒延べ数 300人以上	探究推進各学年
		読書や言語活動の充実により、他者の意見を聞き、自らの考えや意見を外部に発信する力を育成する。	年間読書数3冊以上 探究活動で達成感を感じた生徒 80%以上	図書各教科

様式第1号

ウ	進路指導体制や指導計画の充実を図り、早期からキャリア教育を実施することで、生徒一人ひとりが主体的に進路を選択していく能力を育成する。	多様な進路希望を実現できるよう、進路シラバスに沿って低学年から計画的に進路指導を進める。	進路目標達成のために、3年間継続的に努力できた生徒80%以上 各種検定に挑戦した生徒50%以上	進路 各学年 各教科
		面接指導・小論文指導・補習・校外模試への生徒の参加を促進し、希望に沿った進路に進むための指導環境を整える。	本校の進路指導に満足している生徒(3年生)80%以上	進路
		生徒の実態にあった進路指導を充実させ、多様な進路希望に対応する指導を整備する。	希望進路への合格率80%以上	教務 進路
		就職希望の生徒を中心に、ジョブシャドウイングに続けて、インターンシップを実施し、計画的なキャリア教育を推進する。	年度内就職内定率100%	進路 各学年
エ	保護者や地域等との連携や交流をとおして、生徒の教育環境の充実を図るとともに、地域から信頼される学校となるための取組を推進する。	P T Aとの連携・協力を進めるとともに、公開授業・オープンスクール等による積極的な情報発信により、本校に対する地域の中学生や関係者の理解を深める。 ホームページの更新やSNSによる発信の充実を図る。	本校の教育活動に満足している保護者80%以上 中学生に対するアンケートで、ホームページやSNSが参考になったという回答80%	総務・生徒 教務
		危機管理マニュアルを定期的に確認・修正し、実際に即した防災教育・訓練を実施する。	校内防災訓練3回以上 地域防災訓練参加率80%以上	総務・生徒
		外部有識者・機関等と連携し、教育相談を充実させることにより、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを促進する。	「教育相談だより」年3回以上発行 資質向上のための職員研修年2回	総務・生徒 教育相談
		安全で安心な教育環境を整えるため、清掃活動や校舎内外の安全点検を定期的に行い、不良箇所等の修理を速やかに行う。	清掃活動を通して環境美化を意識することができた生徒80%以上 学期に1回安全点検	総務・生徒 事務室
		教育活動を円滑に実施できるように学校経営予算を効果的に活用する。	事務室は充実した教育活動が行えるように支援していると回答する教職員80% 物品の現物確認等 年1回	事務室
オ	協力し合える教職員組織づくりに努め、資質向上や働き方改革を進めることで、円滑な学校運営を実施する。	「学校における業務改革プラン」を踏まえ、働きやすく風通しの良い職場環境作りとともに、ICTの活用、業務の精選・合理化の実施等により多忙化解消を図る。	勤務時間管理システムの利用による自己管理100% 夏季休暇取得率100% 定時退勤日実施率70%	全職員
		各職員が担当業務及び役割を明確に理解した上で、チームとして相互協力体制のもとで魅力ある学校づくりに努める。	やりがいをもって仕事のできた教員70%	全職員
		コンプライアンス研修や日常の意識啓発を継続し、教職員のコンプライアンスの徹底を図る。 連絡・相談・報告に徹底を図る。	信頼できる先生がいると思う生徒70%	管理職

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。